

# とんがりやね

2021. 1. 1

第178号

<http://wataraseyougoen.jp/>

発行：社会福祉法人桐の実会 わたらせ養護園

〒376-0131 群馬県桐生市新里町奥沢 59-1 TEL 0277-74-0343 FAX 0277-74-0722



## 「変化を恐れない」

施設長 太田徹

明けましておめでとうございます。

旧年中は、たくさんのご厚情を賜り心より感謝申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、現在も続いている新型コロナウイルス（以下コロナと略す）感染防止との戦いの年だったといっても過言ではありません。施設長になって初めての年明け、コロナ感染拡大のため、2月下旬から外泊の中止、3月上旬から学校の休校等いまだかつて経験したことがない事態が起きました。子どもたちにとって「家に帰れない」「学校に行けない」ことがどれほど大きな衝撃だったか計り知れません。私たち職員は「歩みを止めることはできない」という強い決意とこの危機を乗り越えれば元の生活に戻れるという希望を支えに、1日1日を大切に子どもたちの生活を守ってきました。令和2年5月25日緊急事態宣言が全国で解除され、ほっとしたのも束の間、一旦減ったコロナ感染者は再び増加の一途をたどり、8月15日、群馬県は「社会経済活動再開に向けたガイドライン」の警戒度を1から2に引き上げました。これを受け、9月7日から保護者による面会時間を30分から15分に変更しました。

9月15日には群馬大学附属病院感染症対策専門家の医師や看護師の県からの派遣があり、施設見学と感染対策の研修を実施。アルコール消毒の重要性、マニュアルの確認、感染者が出た場合のゾーニングの仕方などご助言をいただきました。それを元に更なる感染対策に力を注いできましたが、10月下旬から「第3波」と言われるように再び感染者が増加し、11月28日には警戒度が2から3に引き上げられ、群馬県障害政策課から面会禁止の通達がきました。12月に入っても新規感染者数は全国で2500人を超えたり、群馬県でも毎日感染者が出る日々が続いています。私たちはこの危機に対して感染予防の徹底だけでなく、外部と接触ができない代わりとして8月11日にZOOMを開設、関係各所と計8回35名とリモートで打ち合わせを行いました。最初はパソコンに向かって話しをすることに違和感を感じたり、相手の反応が分かりにくく会話が成立しているのが不安でしたが、慣れてくると場所を移動することなく、会って会話している感覚になれるので利便性の高さを感じました。子どもたちの柔軟性を見習って新たな可能性に挑戦していきたいです。

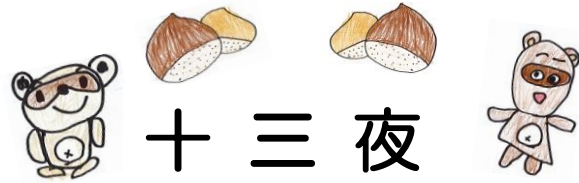
当園は今年の11月1日、創立55周年を迎えます。今後もコロナとの戦いは続きますが、伝統を守りつつ「変化を恐れない」気持ちを持って全力で施設運営に取り組んで参ります。



# 十五夜



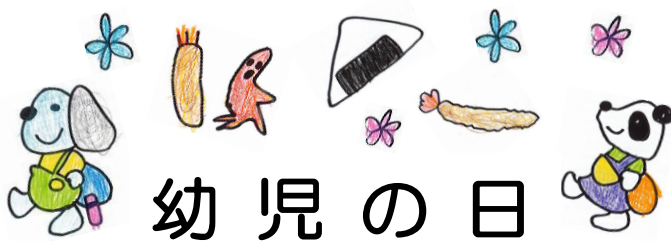
十五夜のおあつまりでは、お月見のお話を聞いて、みんなでうさぎまんじゅうを食べました。子どもたちは夜になると「ねえ見て！お月様あるよ！」と、夜空を見上げてまんまるなお月様を眺めていました。



# 十三夜



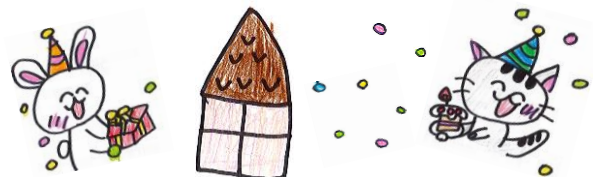
十三夜のおあつまりでは、みんなで「つき」を歌いました。目の前でお供え物を見る機会は少ないこともあって、子どもたちは興味津々。ひときわ大きなお団子に目を輝かせていました。



# 幼児の日



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、遠足の代わりに外でお弁当を食べました。いつもとは違う場所でのご飯に子どもたちは大喜び。レジャーシートの上で「おいしいね！」と、とびきりの笑顔を見せてくれました。



# 開園記念日



11月1日に、54回目の開園記念日を迎えました。わたらせ養護園のお誕生日ということで、園にまつわるクイズをしたり、ケーキを食べたりと、みんなでお祝いをしました。

# クリスマス



今年は1日クリスマス会。ワクワクが止まらない子ども達。サンタさんからのプレゼントなんだろう？楽しみな様子が伺えます。

サンタさんから欲しいプレゼントは貰えたかな？子ども達からは笑顔が溢れ、時間を忘れて夢中になって遊んでいました。



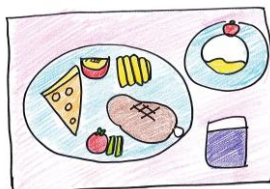
太鼓グループの発表



音楽グループの発表



クリスマスの製作



<児童作品>



Merry Christmas

桐生もりあげ隊の皆様から、三輪車、サッカーボール、バドミントンセットをご寄贈いただきました。ありがとうございました。

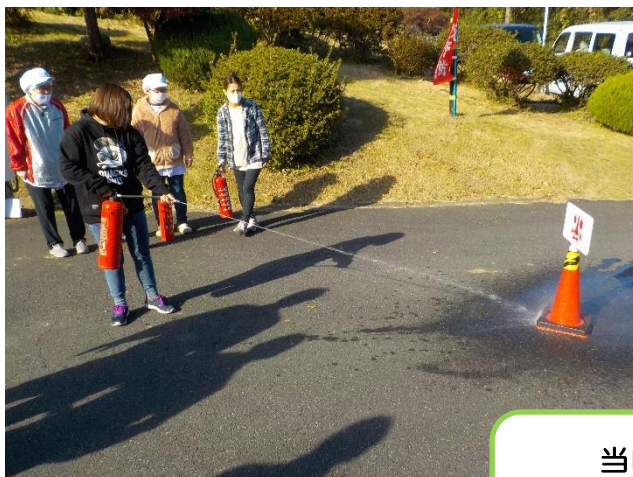




# 総合防災訓練



〈児童作品〉



今年度の総合防災訓練は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、外部の方の参集を中止し、児童と職員のみで行いました。月に一度の訓練とは一味違い、子どもたちも真剣な表情で取り組み、緊張感のある訓練となりました。

また、消火訓練はヤマト防災様のご協力のもと、行われました。

当日のメニューは、「カップラーメン・缶詰・フルーツ缶・水」でした！



夕食には、災害時用の食事を食べました。防災担当の職員から非常食についての説明を聞いて、どんな食事なのかと食い入るように見つめる子どもたち。カップラーメンに缶詰…、とっても興味津々です。

普段あまりお目にかかれないカップラーメンを、嬉しそうにモグモグと頬張っていたのがとても印象的でした。



〈児童作品〉



# 災害時にそなえて



かまどベンチ



ベンチに座る子ども達



かまど



火起こし

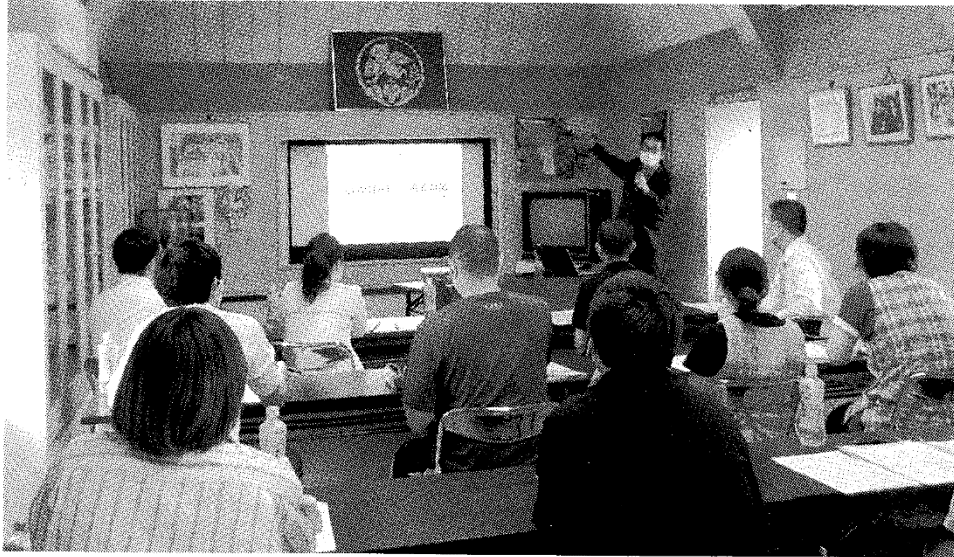


避難経路



厨房の非常ベル

公益財団法人富田昭子ガールスカウト振興財団様よりいただいたご寄付でかまどベンチを購入しました。普段はベンチとして、非常災害時にはかまどとして使えます。停電でも、かまどがあることで温かいご飯を食べたり、寒さをしのぐことができます。変わらぬご厚情に感謝申し上げます。また、第二次避難場所へと続く避難経路の足場を整備したり、厨房に非常ベルを取り付けました。



# 感染制御の専門家から助言

県の派遣事業で  
職員向け研修会  
施設のコロナ対策、具体的に

わたらせ養護園

福祉型障害児入所施設の「わたらせ養護園」(桐生市新里町奥沢、太田徹施設長)で15日、新型コロナウイルス感染症対策をより徹底するための研修会が開かれた。全職員の半数以上にあたる16人が参加し、講師を務めた群馬大学医学部付属病院の医師や看護師から対策のポイントを聞いた。

社会福祉法人桐の実  
わたらせ養護園の職員を前に新型コロナウイルス感染症対策について話す群大病院感染制御副部長の柳澤邦夫さん(右奥)

会(野口秀樹理事長)が運営する同施設は3歳児から中学3年生まで40人が生活。26人の職員が日常生活を支え、子どもたちはそこからバスで学校に通っている。

研修会は県の「障害者支援施設等への感染症対策専門家派遣事業」として実施したものの。群大病院の医師で感染制御副部長の柳澤邦夫さんと同病院感染管理認定看護師である大嶋圭子さんから4人が施設を訪れ、45分間の講義を行った上で、職員とともに施設内を見て回り、対策などをアドバイスした。野口理

9月15日に、わたらせ養護園で新型コロナウイルス感染症対策について、群大病院の先生方を招き研修会を行いました。研修の様子は、桐生タイムスにも掲載されました。

## 桐生市小地域における災害等に関する情報交換会(新里地区)

令和2年10月2日

この集まりは、地域における種別を超えた近隣法人・施設間のネットワークと相互支援体制の構築を目的としています。近隣の障害者・児施設、高齢者施設、こども園等が参加しています。

各事業所の災害への備えと、今後の課題について話し合いました。また、現在流行している新型コロナウイルス対策についても情報交換を行いました。

新井 元気

## 第2回苦情解決関係者会議

令和2年12月8日

新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、会議は中止としました。第三者委員の長井榮子様と田面律子様には、苦情受付が0件であったことを報告させていただきました。併せて事故・ヒヤリハットの傾向も報告させていただきました。

新井 元気



〈児童作品〉

## 出張・研修

10月

- 2 桐生市小地域における災害等に関する  
情報交換会〈新里地区〉 (新井)
- 20 ハラスメント防止講習会〈リモート〉 (太田)
- 28 桐生市地域自立支援協議会 全体会 (太田)

11月

- 5 群馬県知的障害者福祉協会研究発表会  
〈リモート〉  
(太田・柿沼・今泉・大橋・柿田・岩野)
- 13 桐生市地域自立支援協議会 子ども部会  
(新井)

## ボランティア

縫製 八の会さん

(9/29・10/27・11/24・12/22)

## ハラスメント防止講習会【管理職向け】

令和2年10月20日

福利厚生センター主催のハラスメント防止講習会が開催された。初のリモート研修で参加できるのか不安だったので、開始30分前からパソコンを開き、参加の手続きを行った。受講マニュアルが事前に届いており、順番に手続きを進めていくと開始20分前には参加準備を終えることができた。研修テーマは「管理職向けのハラスメント防止講習会」で講義とグループワークが行われた。講義では、ハラスメントの全般的な話とパワハラとセクハラについて具体的な説明があった。特にパワハラは2021年4月1日から当園も対策義務の対象になるので、職場内で該当項目がないかを確認する必要性を感じた。グループワークでは職場内でパワハラが起きるとどんな問題が起きるかを検討した。グループのメンバーは青森、福井、広島など関東圏以外で普段知り合うことが難しい方たちばかりだったので新鮮だった。今回、移動の手間がなく、職場内でリラックスして研修でき、なおかつ、全国の方たちと一緒に参加できることを体験し、リモート研修の可能性を感じた。

施設長 太田 徹



## しゃぼん玉ふわり

「クリスマスに向けて」

主任児童指導員

長谷川 綾子



今年もあと残すところ1カ月をきり、寒さも一段と厳しくなってきました。新型コロナウイルスの影響で、沢山の学校行事や園の行事も中止になってしまいました。そんな中、12月24日に行われるクリスマス会を子ども達はとても楽しみにしています。「どんなジュースがあるの?」「どんなメニューができるんだろう?」「何が食べたい?」と職員に話しをしているのをよく耳にしています。子ども達から「サンタさん、楽しみだな!」「プレゼント何お願いしようかな」「私、~のおもちゃ頼んだよ!」「サンタさんに沢山お手紙書いたの!」とニコニコしながら話をするのが増えてきました。クリスマスの飾りつけも少しずつ増えてきて、とても嬉しそうに子ども達が見ています。

子ども達が毎日の出来事やクリスマスの話しをしている姿を見て、キラキラ輝くこの笑顔が続くように、1日1日を大切に過ごしていこうと思います。



〈児童作品〉

## 編集記

寒さの厳しい冬がやってきました。

今年度になり、新型コロナウイルスの流行で様々な園行事が中止になってしまいましたが、感染症対策を行っていることもあり、体調を崩すことなく元気にしています。冬休みを迎えた子ども達は、園庭に出て遊んだり、クリスマスプレゼントの玩具で遊んだりと楽しく過ごしています。今年度もあと少し、子ども達も職員も元気に過ごせることを祈ります。

本年もよろしくお願い致します。





# わたらせ養護園後援会だより



新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年中は、コロナ禍でありましたが、たくさんのご支援をいただきましてありがとうございました。まだまだ自粛生活が続いておりますが、皆様お変わりありませんか。一日も早く落ち着いた生活を取り戻せるよう願うばかりです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の中間報告をさせていただきます。

(後援会事務局)

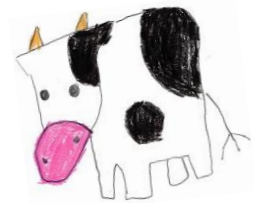
## 令和2年度わたらせ養護園後援会中間報告 会員状況 (令和2年12月現在)

	会員
特別会員	36件
個人会員	151件
計	187件

(内、新規会員7件、復活会員15件)



2021



〈児童作品〉

後援会の加入は年間を通じて受け付けています。事務局迄ご連絡下さい。

会費 特別会費1年1口 10,000円

個人会費1年1口 1,000円(できましたら2口以上おねがいします)

事務局 〒376-0131 桐生市新里町奥沢 59-1 わたらせ養護園内  
わたらせ養護園後援会 TEL 0277-74-0343



## ありがとうございます

(令和2年9月1日~12月31日現在)

### ご寄付(敬称略、順不同)

岸泰宏(東京都) 岸厚次(千葉県)

公益財団法人富田昭子ガールスカウト振興財団、株式会社本島ビジネスセンター社員一同(高崎市)  
スズラン労働組合、東京電力労働組合群馬地区本部(前橋市)  
高柳整形外科院長高柳均、松崎靖(みどり市)  
野口秀樹、澤田竹志、小原益子、DreamVoices(桐生市)

### ご寄贈(敬称略、順不同)

橋本宏江、山田千賀(埼玉県) 森喜美男、五味洸勇一(栃木県)

群馬県蒟蒻協同組合(高崎市) 小幡香織、須藤巨(伊勢崎市)

大間々ライオンズクラブ、財団法人日本モーターボート競走会桐生支部、大間々環境サービス  
小林米穀店、齊藤知子(みどり市)

諏訪歯科医院、桐生市桜木婦人会、深沢かつ江、鴨田拓磨、樋口利一、尾池勝美、桐生もりあげ隊(桐生市)

